

建 築 家

通 信

2018.8.31
vol.118



公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 長野地域会
JIA長野県クラブ

<http://www.jia-nagano.com>

E-mail info@jia-nagano.com

一歩ずつ

JIA長野県クラブ代表 荒井 洋



過去の活動・まちなみウォッチングより

7月の西日本豪雨災害で200人以上の尊い命が失われました。亡くなられた方、ご親族の方には心よりお悔やみを申し上げます。

JIA本会や支部でも災害対策に関して重要課題と捉え災害後の活動を検討してきましたが、私は今回の災害を受けて地震と豪雨災害とを同じ基準で語るのには難しいように感じています。地震の場合応急危険度判定や被災程度の判定など我々の職能を生かした活動が可能です。豪雨による土石流や浸水被害に対しては職能を生かした活動というよりも、より多くの個人の労力を求められています。

本来、建築家が職能を生かせるのは設計です。災害後の活動は当然大切ではありますが、災害が発生する前にやるべきことをもう一度考えてみるのが重要だと思います。我々が誇れるものの中に想像力と統合力があります。土地を読むこと、地域の特性を読むこと、そして危険性を読むこと、これらは想像力と統合力で成り立ちます。私自身考えて見ますと土地に関して積極的に意見することが少なかったように感じています。個人の財産に対して意見するようではなかったのかも知れません。今後は敷地の危険度を正確に施主に伝え、最悪の場合建設地としてふさわしくないと進言しようと思います。適切な対策を講じていれば今回の水害のかなりの被害を防げた可能性があります。極論を言ってしまうと住宅を建設するにはふさわしくない地域に建設していた例が数多く見受けられました。地震被害も水害も未然に

防げるのは我々設計者なのだと自覚して行動して行きたいものです。

残念ながら個人の能力では難しいこともあるかもしれませんが。そのためにも会員間の交流を深めたいと考えています。個人が持つ情報を共有し、話し合える場を作り、自由に意見交換できる方法はないものか一緒に考えていただきたいと思います。法人協力会にも実践で養った多くの情報があるはずで。それらを正会員にフィードバックしていただき、より良い建築を共に作って行きましょう。

設計上悩んでいる問題を気楽に相談できる場をつくれば会員間の交流が活発になります。まだ入会していない建築士もそのような輪に加わりたと思っていただければ会員数はおのずと伸びてくると考えられます。同じように行政とも悩みを共有して協力し合っていくことで、より強固な信頼関係が生まれるものと信じています。

でも硬いことばかり言っていないで楽しいことも必要です。以前活発に行われていた家族も参加できるまちなみウォッチングを復活させましょう。大雪の中の能登の旅も楽しい思い出です。

本年度の目標はあせらずこつこつと一歩ずつ前進することです。





白樺湖夏の家の前にて

学生時代の後輩から連絡があり、白樺湖の夏の家を保存することになり、アールの雰囲気を十分復元しますから出来上がったならば是非出かけてくださいと連絡があったのが2年前の事でした。その彼が急逝し、お別れの会で鈴木教授と出会ったのが今年の3月の事です。その場で夏の家を保存の概要とJIA25周年賞の応募する事、そしてその25周年賞を応募できる最後の年つまり建設して50年を経過する建物であることをお聞きしました。私はこの建物を体験したことがなかったのでできることなら見学をしたいな!と思ったのがこの企画の始まりです。

学生時代、武藤章先生の自宅が竣工して新建築に載りました。授業

を終わって先生のところに歩み寄り、見学させていただきと懇願したところ、つまらなそうな顔で今日の日曜日だったらいいぞ!と下さり友人と二人で見学させていただいたことがありました。何にも知らず建築の勉強を始め、建築家の家をご本人から説明され感動したのをよく覚えています。白樺湖の夏の家も武藤先生のご自宅の雰囲気とよく似た空間を感じました。

今回、武藤先生と一緒に設計を携わった南迫先生にも40数年を経たお会いすることができました。当時、私たちはセコ先生と呼ばせていただき、ライトの研究をされていたことを思い出しますが、授業の想い出はどこかに行っちゃってしまいました。セコ先生と鈴木教授の説明と想い出話をお聞きし、見学と充実した時間を過ごさせていただきました。両先生に感謝です。

自分で企画して自分で感想記を書くのも不思議な感じで、参加された方はどう感じたかを知りたいところです。ということで夏の家の感想というより個人的な思い出話になってしまいましたが、ご容赦ください。



南迫先生よりご説明

新入会員紹介



正会員

窪寺弘行・建築計画事務所

窪寺 弘行

2016年2月に入会致しました、岡谷市の窪寺と申します。

『北山孝二郎+K計画事務所』(北山氏は安藤忠雄氏の実弟)に15年ほど在籍し、その後独立して、現在設計事務所を主宰しております。

JIAの活動についてはかねてより注目していましたが、特に諏訪・岡谷を中心に開催された2014年5月の保存問題大会では、社会への影響力に驚くとともに、その活動に感銘を覚えました。

現在、支部保存問題委員会委員長を拝命しておりますが、是非皆様のご支援・ご協力をお願い致します。



正会員

キビト建築設計

鈴木 敏之

以前の事務所で、尊敬していた先輩から「JIAには入りなさい。」と言われたことをいまだに思い出す。もう、四半世紀も昔のこと。

この度 JIA 長野県クラブに入会しました、キビト建築設計の鈴木敏之です。田舎生活に引かれて東御市に移住し、自宅兼事務所を開業して13年が経ちます。やっと助言に答えられました。これからは、JIAを通じて様々な知識や経験を積ませていただきたいと思います。



正会員

Atta 一級建築士事務所アトリエタ

俵 周次郎

皆さまはじめまして。

上田市にあります Atta 一級建築士事務所アトリエタの俵 周次郎と申します。

2013年に事務所を開業して丸5年が過ぎたところです。

この度JIA長野県クラブに入会させて頂き身の引き締まる思いです。

自分自身の建築技能の向上のため、また地域の建築文化の発展を目指して諸先輩方から勉強をさせて頂きたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



法人協会員

フジテック(株)首都圏統括本部
北信越支店 長野営業所

田中 亮

当社は1948年に昇降機専門メーカーとして創業し、エレベータ、エスカレータ、動く歩道の研究開発・製造・販売・据付・保守をお客様へ提供してまいりました。「人と技術と商品を大切に、新しい時代にふさわしい、美しい都市機能を、世界の国々で、世界の人々とともに創ります。」という経営理念のもと、日本国内では120箇所を超えるメンテナンス拠点や、24の国と地域に事業拠点を構え、現地に根ざした企業として現在も成長中です。

昇降機専門メーカーだからこそ一貫した体制の下、安全・安心を一つ上の品質でお届けしておりますので、昇降機の事は、是非お気軽にお問い合わせください。お客様のご意見を伺いながら、最適なプランをご提案致します。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

イベント

4月20日(金)・・・2018年度通常総会
7月21日(土)・・・夏のセミナー

今後の行事予定

9月1日(土)・・・まちなみウォッチング in 平出
9月10日(月)～14日(金)・・・アルカジア東京大会
9月13日(木)～15日(土)・・・JIA 建築家大会 2018 東京

編集後記

今期より、会報「建築家通信」の編集を担当させていただくことになりました。昨年度までの年4回から2回発行となりますが、皆様にご協力をいただきながら、これまでと同様に、当会の活動と魅力が伝わる会報誌づくりに努めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。……………竹内 祐一

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。



編集人/竹内 祐一 発行人/荒井 洋
発行所/JIA長野県クラブ
長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内
TEL : 026-232-3897 FAX : 026-232-5303
<http://www.jia-nagano.com>
E-mail info@jia-nagano.com